

オープンアクセスの実現方法

オープンアクセスとは、文献がインターネット上で公開され、無料での閲覧を含めた自由な利用が可能になっている状態です。

近年では公的資金での研究成果は広く還元されるべきという観点から、多くの研究助成機関では研究成果の公開を義務化・推奨しています。実現には大きく分けて2つの方法があります。

オープンアクセスで論文を出版

- オープンアクセスジャーナルに投稿
- オプションとしてオープン化（ハイブリッドジャーナル）

セルフアーカイブ

- 機関リポジトリ：Kernel
- プレプリントサーバ
- 研究者用SNS・ウェブサイト

知っておきたい基礎知識～その1

オープンアクセスジャーナルは、投稿時に著者が出版料（APC）を支払うことで、オープンアクセスを実現します。その中には取り扱う分野の広さ、効率化された査読プロセスなどの特徴を持つオープンアクセスメガジャーナルが登場しました。PLOS ONEやScientific Reportsなどが代表的なタイトルにあげられます。従来の学術雑誌より刊行までのプロセスが合理化され、査読や評価方法の変化をもたらす一因となっています。この他、論文単位でオープンアクセスにできるオプションを用意したハイブリッドジャーナルもあります。APCは無料な場合もありますが、\$1,000～5,000（ハイブリッドジャーナルが高額な傾向）が相場です。

セルフアーカイブとは、著者自身やその代行者が、出版社サイト以外の場所で論文をオープンアクセスにすることです。国際誌の多くは出版社に提出し、査読後の修正を経て出版社が最終的に受理（accept）した「著者最終原稿」の公開を認めています。セルフアーカイブのための保存・公開システムの一つが機関リポジトリです。神戸大学では**Kernel**を提供しています。その他、研究者用SNSやウェブサイトなどを通じて公開する方法もあります。論文を機関リポジトリ等で公開できるかどうか、投稿規定や著作権譲渡契約書を確認、または電子図書館係までご相談ください。



知っておきたい基礎知識～その2

プレプリントサーバ

査読を受けて受理される前の論文を公開し、早期に研究者間で情報交換を行うことができるシステムです。主題別のものが多く、代表的なものにarXiv、SSRNなどがあげられます。近年、bioRxiv、SocArXiv、ChemRxivなど数多くのプレプリントサーバが台頭し、その中にはbioRxivなど、ジャーナルへの直接投稿が可能なプレプリントサーバもあります。

Creative Commonsライセンス

通称CCライセンスとよばれ、インターネット上のコンテンツに対して著作権者が一定の条件の下、自由利用を認めることを示します。オープンアクセスの論文にCCライセンスを付与する出版社や機関も少なくありません。神戸大学ではCCライセンスが付与された論文はKernelに登録し、著者に事後報告を行っています。

研究者用SNS

代表的なものにAcademic.eduやResearchGateなどがあり、プロフィールページ作成や研究者同士のネットワークのほか、研究成果をリスト化、論文を公開する機能を有します。公開できるバージョンは出版社との著作権譲渡契約や投稿規程に従う必要があります。

ハゲタカジャーナル

predatory journalと呼ばれるAPCの収益を目的としたジャーナルです。それを刊行する出版社はハゲタカ出版社（predatory publishers）と呼ばれます。質保証や査読プロセスが明晰ではなく、中には有名誌に名前を似せたhijacked journalと呼ばれる雑誌を刊行する出版社も存在します。この言葉を広めたJeffrey Beall氏は「Beall's list」と呼ばれるハゲタカ出版社のブラックリストを公表していました。（2017年1月以降閉鎖中）

学内刊行物、教材、研究データ、その他研究成果をオープンに

出版社や学会が刊行する学術雑誌論文以外の学内刊行物（紀要）や講演会のスライド、教材、研究データなどもKernelの登録の対象としています。登録を検討されている方は、まずは電子図書館係までご相談ください。

もっと知りたい人に

『オープンアクセスハンドブック』（東京大学）

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/oahandbook>

「午後の講座：オープンアクセスとハゲタカジャーナル」（北海道大学）

<http://hdl.handle.net/2115/71762>

ライセンスについて（Creative Commons）

<https://creativecommons.org/licenses/?lang=ja>

